

## 【三重県三重郡川越町】

### 校務 DX 計画

本町では、令和元年度に校務支援システムを導入し、校務の DX を推進しています。

その状況下で、GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリストに基づく自己点検結果では、校務現場における DX の利活用が進んでいないため、教職員の業務の効率化が図られていない状況であります。（長時間勤務が改善されない状況であります。）

GIGA スクール構想では、ICT を「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に必要不可欠なツールであるとともに、教師の長時間勤務の解消と学校の働き方改革を実現するうえで大きな役割を果たし得るものと位置づけています。

そのため、次に掲げる校務の DX 化に取り組むことにより、業務を効率化し、教職員の負担軽減と教育活動の質を向上させます。

#### （１）ゼロトラスト環境の構築

令和元年度に情報ネットワークを整備し、児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」、ホームページの編集やメール配信などインターネットに接続して業務を行う「校務外部系」、児童生徒が授業で利用する「学習系」の３つに分離し、個人情報にアクセスできない構成となっています。

教職員の業務の効率と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考えに基づき、端末アクセス管理でなく、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じられた「校務系・学習系ネットワーク」の統合を検討し、新たなネットワーク環境を構築します。

#### （２）校務支援システムのクラウド化

現在の校務支援システムはオンプレミス（役場庁舎サーバ室内）で運用しています。保護者への連絡アプリなど汎用クラウドツールを利用し、教職員の負担軽減とコミュニケーションの活発化できる環境を整備するため、校務支援システムの次期更新時（令和 8 年 12 月末）にクラウド化に向けて、仕様内容等を検討します。

#### （３）教育ダッシュボードの活用

授業支援ソフトウェアやデジタルドリルで蓄積された学習系データや児童生徒の出席席及び成績情報等の校務系データなど多くの教育データを収集・分析・可視化する教育ダッシュボードを活用するために、本町に最適なものを検討します。

#### （４）FAX 及び押印の見直し

学校業務の効率化を阻害要因である FAX や押印について、業務の効率化及び利便性を図る観点から、電子メールの活用、オンラインコミュニケーションツールの導入、ワークプロセスのデジタル化を推進します。